

経営健全化方針に基づく取組状況（令和6年度）

○法人名

秋田栗駒リゾート株式会社

○経営健全化方針を策定した理由

- ・平成29年度決算において、債務超過額が22,434千円となり単年度赤字となったため、策定したもの。

○財政的リスクの状況

	平成29年度決算	令和6年度決算	目標達成年度 (令和7年度)
債務超過額（千円）	22,434	82,001	0

○主な取組状況（令和7年7月現在）

【法人自らによる経営健全化のための具体的な対応】

- ・人手不足が続く中、効率的な運営体制を構築するため、収益性の高い施設（栗駒山荘）へ人員を集約し、一方で収益性の低い施設については営業規模を縮小することで、経費の抑制を図りつつ運営を行っている。
- ・業務効率化のため、DXの推進に取り組んでおり、その一環として、国補助金を活用して新たなフロントシステムを導入した。
- ・各施設の光熱費（照明・空調）を抑えるため、省エネ（節電・温度設定）体制を強化した。
- ・原材料費や人件費等のコスト上昇が著しいことから、各種利用料金の見直しを行い、料金改定（値上げ）を実施した。

【地方公共団体による財政的なリスクへの対処のための対応】

- ・各施設の経営改善に向けた方策を法人と定期的に協議している。
- ・村内施設の利用促進のため、村応援団制度による利用料金割引や合宿等に対する補助制度など側面的支援を実施し、売上高の確保につなげている。
- ・経年劣化等著しい施設の大規模改修を実施し、利用者の快適性の向上と省エネ設備導入による維持管理コスト削減を図っている。
- ・外部人材を導入し、法人の現状分析と経営改善に努めている。

○法人の財務状況

（貸借対照表から）

（単位：千円）

	平成29年度決算	令和6年度決算
資産総額	58,931	45,795
（うち現預金）	39,713	34,726
（うち売上債権）	10,172	4,930
（うち棚卸資産）	5,134	3,356
負債総額	81,365	127,796
（うち当該地方公共団体からの借入金）	0	0
純資産総額	△ 22,434	△ 82,001

（損益計算書から）

	平成29年度決算	令和6年度決算
経常収益	356,770	322,383
経常費用	358,156	324,114
経常利益(損益)	△ 1,386	△ 1,731
経常外利益(損益)	0	0
当期純利益(損益)	△ 1,590	△ 4,777